

市町村名		本部町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	八重岳及び町有公園の美化推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 -1-(1)	
事業内容	町有公園等の観光施設には多くの木々や花が植えられているが、亜熱帯気候地域に位置する沖縄(本部町)は、適切な管理を行わなければ雑草の繁茂が早く、花が見えなくなる現状である。魅力ある観光地づくりを推進し、観光施設の整備を図るためにも、景観美化等を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		36,940	-			
			36,940	-			
			0	0			
			-	29,800			
			36,940	29,800			
	B.執行済額		7,140	29,799			
	うち交付金充当額		5,712	23,800			
	次年度繰越額		29,800	0			
	執行率(%) (B/A)		19.3%	100.0%			
予算の状況の説明		地権者との合意形成に時間がかかった等の理由により繰越事業とはなったが、予算は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	八重岳線沿い(約4.5km間)剪定、伐木、植栽、下刈り	目標	(剪定、伐木、植栽、下刈り)	()	()	()	
		実績	剪定、伐木、植栽、下刈りの実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	八重岳線全線の伐木等予定から一部予算を桜まつりが行われるイベント会場周辺の環境整備にシフトした事により、観光客の誘客に寄与できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(28年度)
	観光地美化の実施:4.5km	目標	(0km)	(L=4.5km)	()	()	(L=4.5km)
		実績		L=1.5km			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	当初は八重岳線沿いL=4.5kmを年度内に整備予定であったが、桜まつりが実施されるメインイベント会場の桜の森公園周辺を優先的に行ったほうが事業効果もあがるため、当初予定の八重岳全線L=4.5kmのうちL=3kmの環境整備は達成できなかったが公園周辺を中心にA=26,000㎡の整備を行った。					

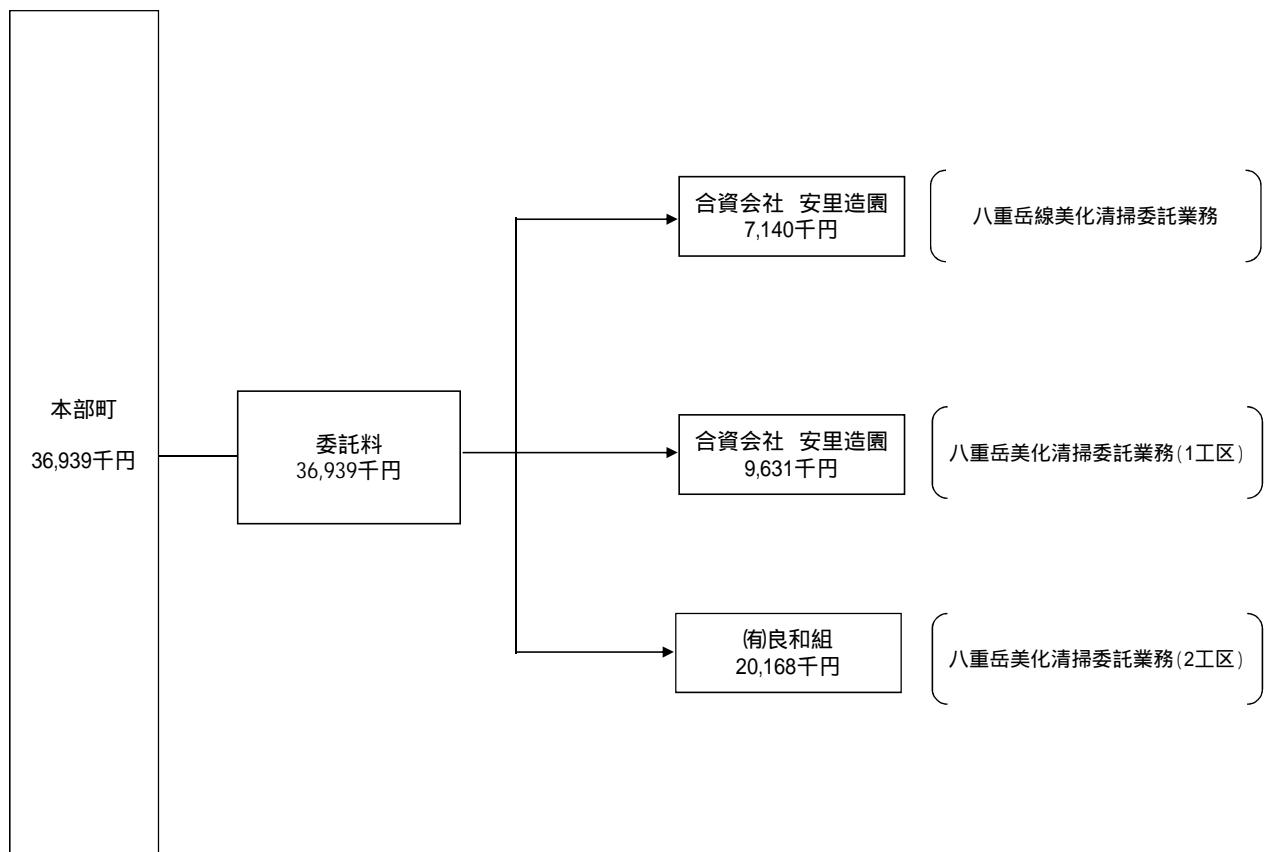
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	沿線沿いの伐木作業が予想以上に難易度が高く作業に困難が生じた。	高木の伐木においては、大型クレーン等の機械的作業も考慮した作業計画を策定し効率的な作業を推進したい。

今後の取り組み方針

引き続き沿線や関連施設廻りの環境整備を行うことで、八重岳に来訪する観光客の増集を図りたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,939	36,939	29,512	7,427	0



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名審査会により企業組織、実績、等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		本部町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	観光アクセスロード整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 -1-(1)	
事業内容	本町を訪れる観光客は散策を楽しむ傾向があるが、町内にある観光文化施設へのアクセスロードは老朽化が進み歩行者にとって危険な道路となっている箇所が多いため、観光客の安全や観光イメージを損なわないためにも、アクセスロードの整備を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	34,610	-			
		(b)予算現額	34,610	-			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	11,316			
		A.計(b+d)	34,610	11,316			
	B.執行済額		23,293	11,315			
	うち交付金充当額		18,634	8,974			
	次年度繰越額		11,316	0			
	執行率(%) (B/A)		67.3%	100.0%			
予算の状況の説明		自然保護法に基づく許認可取得のための調整に不測の日数を要し繰越事業とはなったが、予算は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	アクセス道路の整備(カルスト散策道・石くびり道・土帝君道)約L=500m	目標	(L=500m)	()	()	()	
		実績	L=563m				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	実施前に計画箇所周辺地権者との協議において、新たに活用可能な観光施設への整備合意ができたため、予算内でアクセス道路の延伸を図った。そのため、観光客の動線が施設から施設へと有機的に結合出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
	アクセス道路の整備(カルスト散策道・石くびり道・土帝君道)約L=500m	目標	(0m)	(L=500m)	()	()	(L=563m)
		実績		L=563m			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	一部の地権者の反対がため整備の持ち越し箇所が発生し、石くびり道路については事業が出来なかった。						

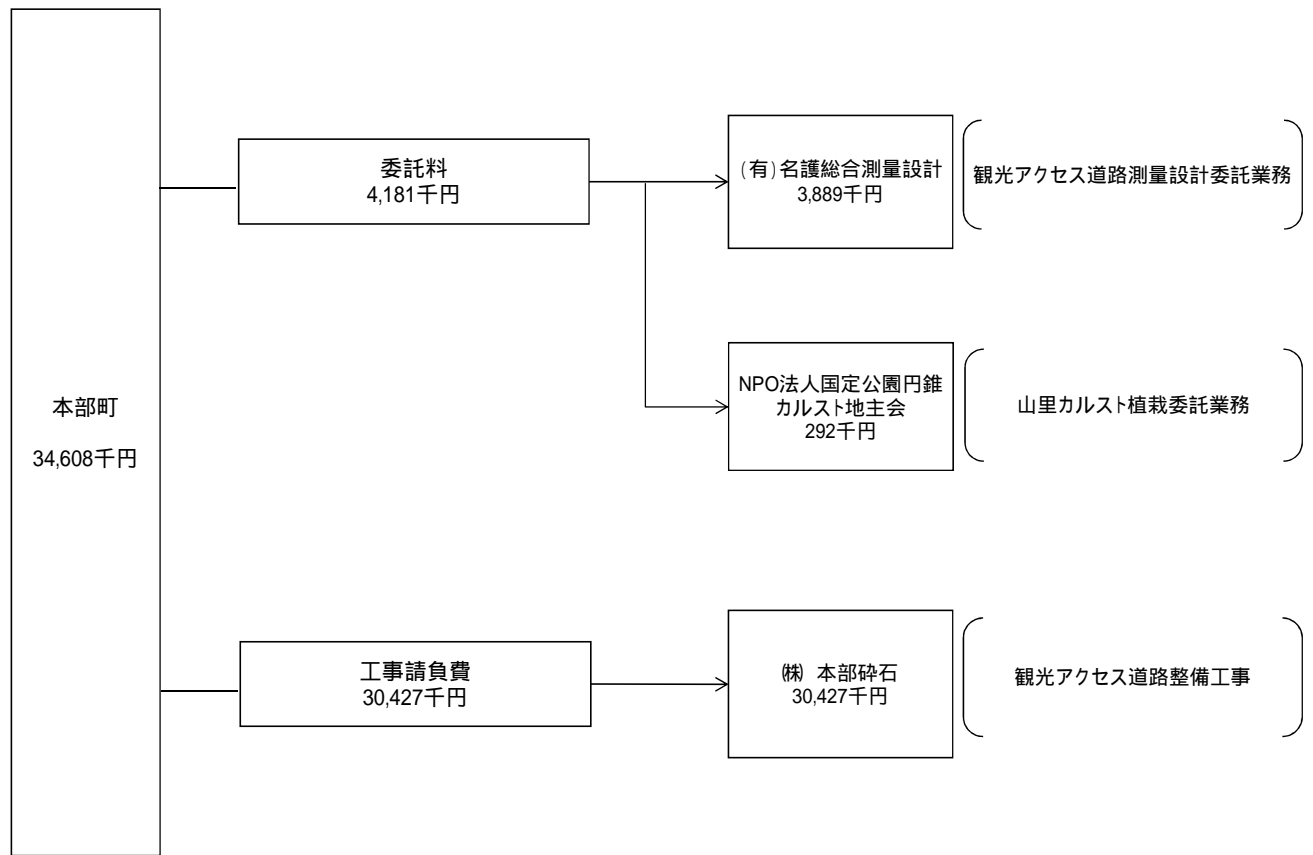
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	事業推進において、一部の地権者等の合意形成が図られなかった。	事業執行のために地域及び関係機関とともに事業推進を図っていく。

今後の取り組み方針

アクセス道路周辺の環境整備を行うことで、町全体に散在する施設への有機的な結合を目指し多くの観光客を誘客したい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
34,608	34,608	27,608	7,000	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	工事業者は指名審査会により企業組織、実績、等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	本部町
------	-----

平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-	市場駐車場整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	-1-(1)

事業内容
 町営市場の慢性的な駐車場不足の解消のため、市場駐車場を整備し、観光客等の利便性を向上させることにより、集客力の増大を図り、観光の振興につなげる。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	28,064	-		
(b)予算現額	28,064	-				
(c)増減額(b-a)	0	0				
(d)繰越額	-	24,770				
A.計(b+d)	28,064	24,770				
B.執行済額	3,218	24,041				
うち交付金充当額	2,574	19,232				
次年度繰越額	24,770	0				
執行率(%) (B/A)	11.5%	97.1%				
予算の状況の説明	当初計画額からの不用額は生じているが入札残等によるものであり事業は適正に執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
		公共駐車場整備	目標 (駐車場の整備)	()	()	()
	実績	駐車場整備完了				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	事業予定地の地権者との土地売買交渉に想定以上の時間を要したため平成25年度へ事業を繰越したが、当初目標の通り駐車場整備を完成することができた。公共駐車場は平成26年4月から供用開始している。					

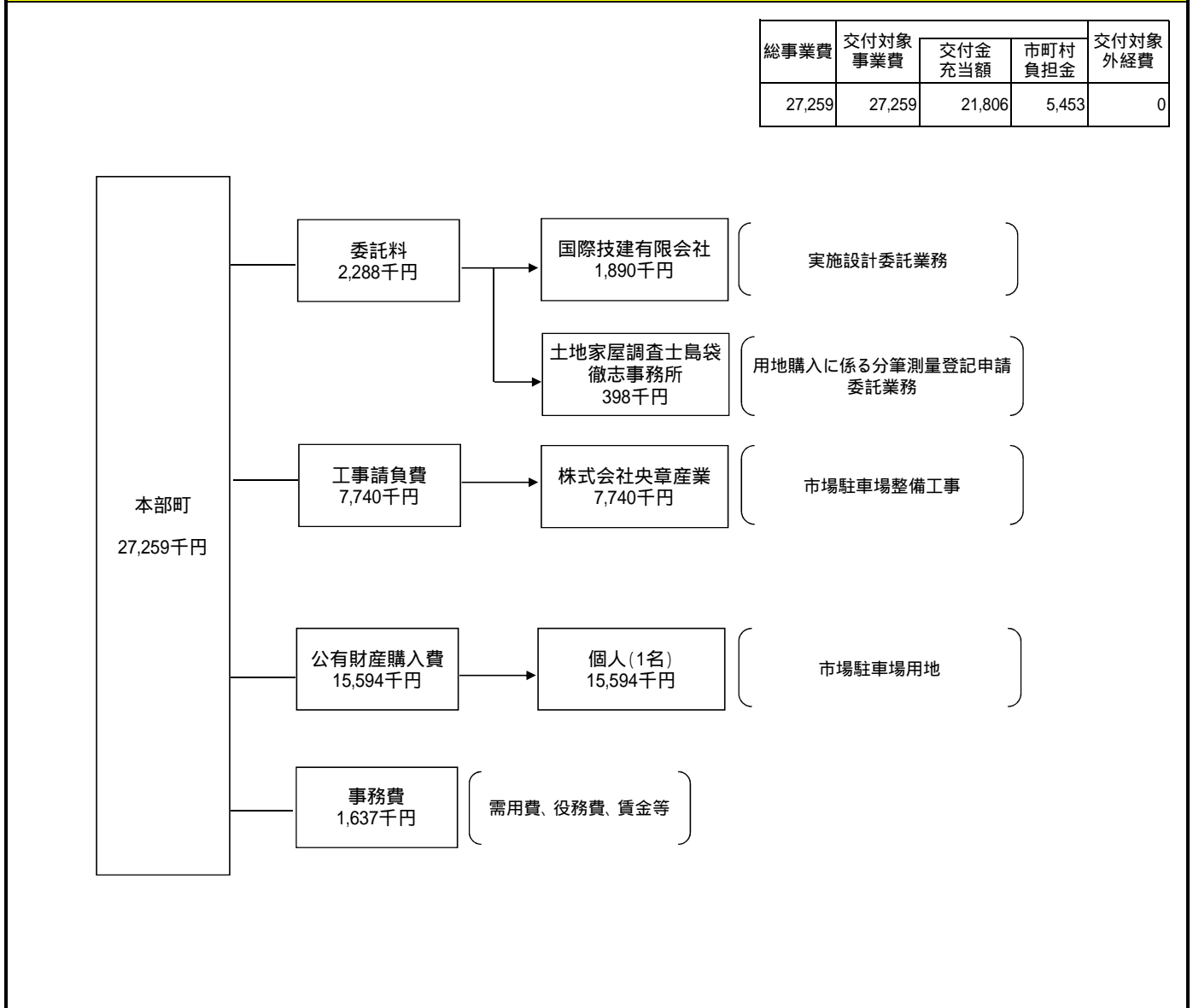
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(24年度)
		公共駐車場整備台数	目標 (0台)	(32台)	()	()
		実績		32台		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	駐車場32台を整備することで、これまで不足していた駐車場不足を緩和することができた。今後は平時の利用の他、市場を中心としたイベントの開催など、市場の活性化及び観光振興のために、整備した駐車場を活用していく。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・市場周辺は、戦後(車社会でない時代)に形成された市街地であり、駐車場用地の確保が難しい。現状の駐車場量では今後の利用者増加については十分に対応できない。</p> <p>・駐車場整備により、観光客など市場利用者の利便性を向上させることができた。また、以前より路上駐車が減少し、市場利用者の交通安全確保も図ることができている。</p>	<p>・今後レンタカーを利用した観光客が増加するようであれば、駐車場の追加整備が必要となる。</p>

今後の取り組み方針

駐車場を整備したことにより市場利用者の利便性が向上し、より市場を訪れやすい環境を整備することができた。今後は、魅力ある市場づくりを目指し、イベントの開催など集客への取組みを積極的に行うことで、本町の活性化につなげていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	設計委託及び工事請負については指名競争入札により受託者・請負者を選定した。
		予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		本部町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	スポーツツーリズム環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 -1-(1)		
事業内容	本部町運動公園は、プロサッカーチームや実業団陸上部等の合宿施設及び競技会場として利用されているが、設備環境が不十分なこともあり、今後も安定した合宿や公認競技等の誘致のために、公認競技場の認定取得及びプロスポーツ等の練習施設としての環境整備を行い、スポーツツーリズムを通して観光振興に繋げる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	25,996	-			
		(b)予算現額	25,996	-			
		(c)増減額(b-a)	0	0			
		(d)繰越額	-	7,819			
	A.計(b+d)		25,996	7,819			
	B.執行済額		17,729	7,818			
	うち交付金充当額		14,183	6,254			
	次年度繰越額		7,819	0			
	執行率(%) (B/A)		68.2%	100.0%			
予算の状況の説明		スポーツ合宿等利用期間中に工事停止が必要となり不測の日数を要したため繰越事業となった。当初計画額からの不用額は生じているが入札残等によるものであり事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	運動公園の環境整備		24年度	25年度	26年度	27年度	
		目標	(備品整備 保管施設整備)	()	()	()	
		実績	備品整備実施 施設整備実施				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	プロサッカーチームや実業団陸上部等の合宿、公認競技等の誘致に伴う環境整備を実施。 備品購入費 13,124,927円 高跳び用マット・防球ネット等 施設整備費 12,067,200円 備品倉庫新築 プロスポーツチーム等の合宿時に防球ネット等の備品を活用して、充実した合宿が展開できるよう取り組んだ。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(24年度)
	公認陸上競技場3種認定	目標	(認定なし)	(第3種競技場認定取得)	()	()	(第3種競技場認定取得)
		実績		第3種競技場認定取得			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年11月26日検定。平成24年12月1日公認。 検定員派遣費 197,510円 公認手数料 157,500円 平成27年・28年 国頭郡陸上競技大会開催予定。今後も公認競技等の誘致を行い、スポーツツーリズムを通して観光振興に繋げる。					

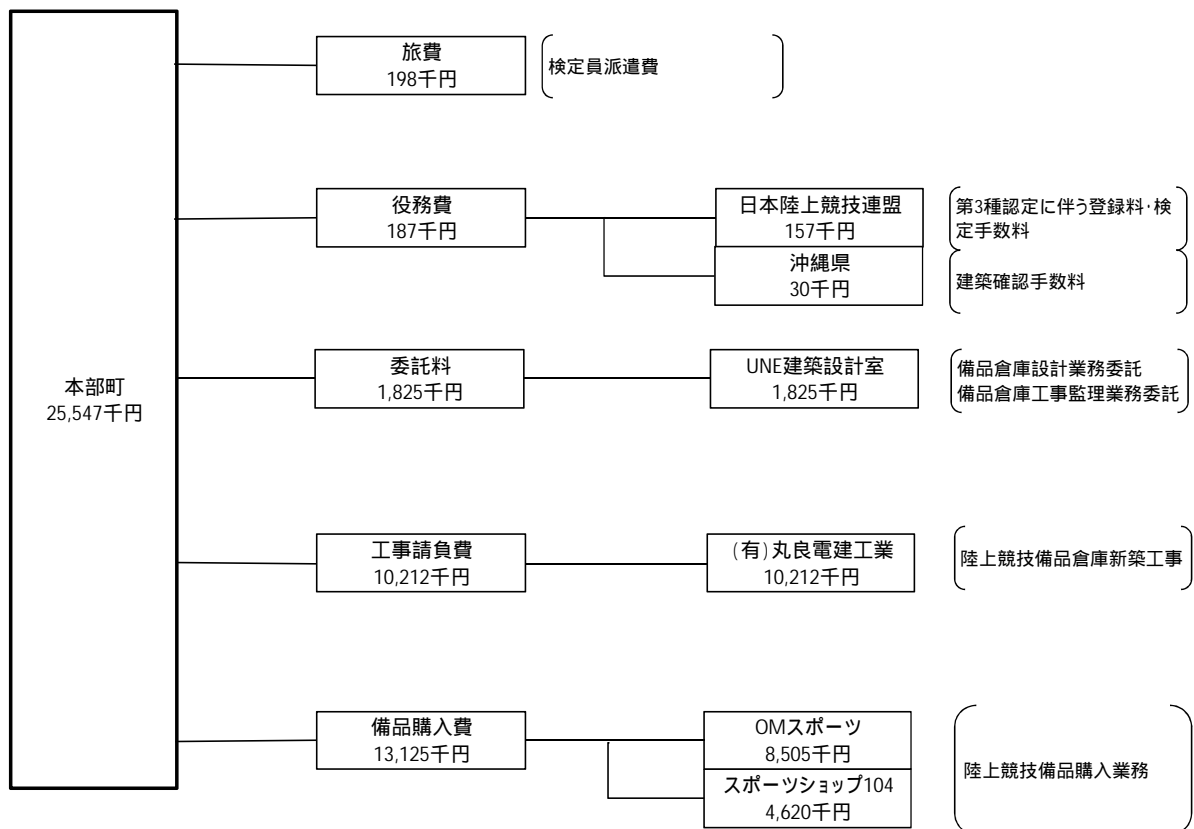
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	施設の維持管理については今後、指定管理団体、その他協力団体との連携が不可欠である。	環境整備、第3種認定を取得したことにより、今後はさらに誘致活動を充実する必要がある。

今後の取り組み方針

年間を通じた合宿等の誘致が展開できるよう、町スポーツ合宿等推進協議会の結成を検討し、関係団体との連携を密にしながら、施設の維持管理、誘致活動の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,547	25,547	20,437	5,110	0



資金の流 れ、費目 ・ 評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者及び工事受注者は入札により選定している。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要性を 事業費確定時において支出等に関する書類により確認し、 その結果適正であった。
	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		本部町					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	亜熱帯バイオマス有効活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進	-1-(6)	
事業内容	本町は、中山間部が多く、周年温暖であるため、草木・木材等の植物系および水産加工を主体とした動物系等バイオマス資源を豊富に有している。バイオマス資源のストックヤードの整備を図ることにより、現在焼却処分等に対応している植物系・動物系等各種バイオマス資源の総合的利活用システムを確立する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		106,054	-			
			106,054	-			
			0	0			
			-	22,835			
			106,054	22,835			
	B. 執行済額		83,132	22,835			
	うち交付金充当額		66,505	18,268			
	次年度繰越額		22,835	0			
	執行率(%) (B/A)		78.4%	100.0%			
予算の状況の説明		敷地の選定及びのち転用手続きに時間を要したため繰越事業となった。当初計画額からの不用額は生じているが入札残等によるものであり事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	バイオマス活用施設整備 機械整備(トラック、ショベルローラー)	目標	(施設整備 機械整備)	()	()	()	
		実績	施設整備実施 機械整備実施				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	ストックヤードの整備及び機械整備を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(24年度)
	スtockヤードの整備・活用	目標	(未整備)	(整備・活用)	()	()	(整備・活用)
		実績		整備・活用			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	ストックヤードの整備及び機械整備を完了したことにより木材チップを破碎しストックする事が可能となり、焼却処分していたバイオマス資源の有効活用ができるようになった。						

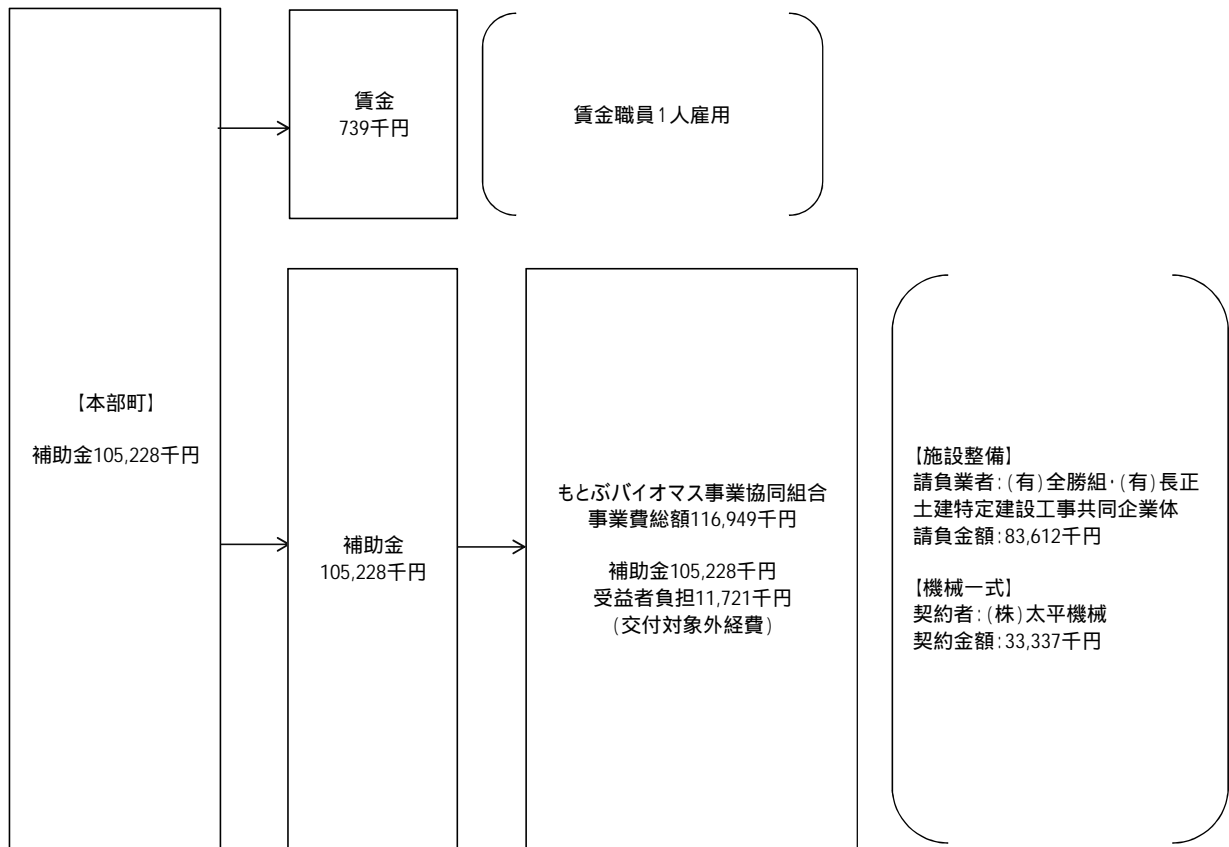
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	原料の受け入れについて毒性のあるキョウチクトウやイジロについては加工製品に影響が出ないか注視する必要がある。	加工製品であるウッドチップの用途として、現在家畜の敷き草や畑地のマルチ材として活用されている。製品は防草効果も期待できることから、今後は公園や沿道の敷き草としても活用できないか検討中である。

今後の取り組み方針

今後もバイオマス資源の有効活用につながる製品開発及び施設の利活用を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
117,688	105,967	84,773	21,194	11,721



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	費目、用途は事業目的に即している。支出先の選定方法も妥当である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	